

1

フォスター電機株式会社

各社の考え方

① 算定を行う
背景・目的

- 当社は2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを進めている。
- 当社の事業活動を通じたサプライチェーン全体の排出量を把握することで、Scope 1、2だけではなく、Scope 3についても効果的な削減方法を検討する。
- ステークホルダーからのサプライチェーン排出量に関する情報開示に対応する。

② 算定結果の
活用方法

- CDPからの質問書への回答やお客様からの情報開示要求へ対応する。
- サステナビリティレポートやホームページを通じて算定結果を公開し、自社の環境活動をPRする。
- 環境管理活動の目標設定と監視指標に活用する。

③ 算定のメリット

- サプライチェーン排出量を算定することにより、排出量の多い部分や削減ポテンシャルを明確化することができる。また、それらのデータをもとに削減対策の具体化がしやすくなる。
- 新たな目標設定、削減活動の推進につながる。
- 部門間の協力が環境意識の向上を促すきっかけとなる。

④ 社内の
算定体制

- 海外拠点と本社関連部門から算定に必要なデータを収集。
- サステナビリティ推進部とビジネスサポート部にて算定。

2

フォスター電機株式会社

各社の考え方

⑤ サプライチェーン
排出量の削減に
向けて

- サステナビリティ推進部が中心となり、サプライチェーン全体での削減のための方策の検討している。
- 製品出荷時の物流スキームの見直しによるCO2削減に取り組んでいる。
- CO2排出量の多いカテゴリから削減の検討を進めている。

⑥ サプライチェーン
排出量算定の課
題

- サプライチェーン排出量管理のためのグローバルな体制を構築する。
- 各カテゴリの効率的なデータ収集、CO2排出量算定制度の向上。

3

フォスター電機株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2022年4月～2023年3月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 部品、原材料の購入金額	● 排出原単位DB*1
カテゴリ2「資本財」	● 設備の投資額	● 排出原単位DB*1
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気、燃料のエネルギー使用量	● 排出原単位DB*1 ● IDEAv2*2
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 輸送トンキロ	● 排出原単位DB*1
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 排出原単位DB*1
カテゴリ6「出張」	● 交通費支給額	● 排出原単位DB*1
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 通勤手当支給額	● 排出原単位DB*1
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● Scope1,2で算定済みのため除外	● -
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 販売した製品の輸送トンキロ	● 排出原単位DB*1
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 該当する活動がないため除外	● -
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 販売した製品のエネルギー使用量	● 社内データによる原単位
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 廃棄物種類別排出量	● 排出原単位DB*1
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● 該当する活動がないため除外	● -
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当する活動がないため除外	● -
カテゴリ15「投資」	● 基本ガイドで規定される適用事業者に該当しないため除外	
「その他」	● オプションカテゴリのため算定範囲から除外	

*1：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.3）

*2：IDEAv2（サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用）

4

フォスター電機株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

カテゴリ		排出量(t-CO ₂)
Scope1		1,083
Scope2		41,292
Scope3	1. 購入した製品サービス	121,972
	2. 資本財	4,549
	3. Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	5,601
	4. 輸送、配送（上流）	11,560
	5. 事業から出る廃棄物	932
	6. 出張	321
	7. 雇用者の通勤	607
	9. 輸送、配送（下流）	2,316
	11. 販売した製品の使用	111,952
	12. 販売した製品の廃棄	2,139
Scope3 Total		264,444
Scope1,2,3 Total		306,819